

授業概要

犯罪や非行に関する心理学はみなさんの想像以上に幅広い領域を持っています。犯罪や非行というと、本人の問題ばかりが目立ちがちですが、実際の犯罪や非行は、環境的要因や社会的要因も含めて、様々な要因が複雑に重なり合い、影響し合った結果起こっているため、この授業では、加害者の心理を中心としながら、社会学的犯罪理論についても講義します。また、犯罪捜査、犯罪被害者の問題についても講義します。

授業計画

第 1 回	犯罪・非行心理学の概要
第 2 回	刑事司法制度の概要 成人・少年（家事事件）
第 3 回	犯罪・非行の社会学的理論 緊張理論・統制理論
第 4 回	犯罪・非行の心理学的理論 機能理論
第 5 回	家庭と犯罪・非行の関係
第 6 回	反社会的パーソナリティ障害と素行症
第 7 回	依存・嗜癖① 薬物・アルコール
第 8 回	依存・嗜癖② 関係依存
第 9 回	認知行動療法① 概要／小テスト
第 10 回	認知行動療法② リラプス・プリベンション
第 11 回	非行臨床におけるカウンセリング
第 12 回	犯罪捜査の心理学① ポリグラフ検査
第 13 回	犯罪捜査の心理学② プロファイリング
第 14 回	犯罪被害者の心理
第 15 回	犯罪被害者に対する支援
第 16 回	試験

到達目標

- 1 犯罪、非行、犯罪被害者及び家事事件についての基本的な知識を習得する。
- 2 司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援について理解する。

履修上の注意

- 1 疑問点があれば積極的に質問してください。
- 2 真剣に受講している他の学生の迷惑となる行為は慎んでください。

予習復習

- 1 復習に力を入れてください。特に授業で理解が不十分だと感じた事項は参考書などで自発的に調べてください。
- 2 報道されている事件や社会問題について、授業の内容とどのような関連があるかを考えることを望みます。

評価方法

試験（期末）60%、小テスト（1 回）20%、コメントペーパーへの記載内容を含む受講態度 20%の割合で評価します。

テキスト

テキストは特に指定しません。資料は必要に応じて配布します。

参考図書：『犯罪・非行の心理学（有斐閣ブックス）』藤岡 淳子（編） 有斐閣 ISBN:4641183473
『犯罪心理学事典』日本犯罪心理学会（編） 丸善出版 ISBN:4621089552